

カリキュラム

No.18-125

テーマ	顧客からの信頼を高める品質管理の進め方			
研修期間	平成30年10月24日(水)～10月26日(金)〔計3日間〕			研修時間：21時間
会場	中小企業大学校直方校			受講料：31,000円
月日	時間	科目	内容	講師(敬称略)
10月24日 (水曜)	9:10～9:30	開講式・オリエンテーション		一般社団法人中部産業連盟 東京本部 佐藤 直樹
	9:30～12:00	製造部門の役割に基づく 品質管理の考え方	製造部門のそれぞれの機能や位置づけについて概観し、品質管理部門の重要性を解説いたします。また、事実をもとに現状を把握することや、PDCAを回すなど、品質管理の取り組みのポイントを理解し、品質管理の意義、考え方とQC7つ道具をはじめとした品質の管理と改善の基本手法について、豊富な事例を交えて学んでいただきます。 ・品質管理の意義・目的 ・QC的な重要な考え方	
	13:00～17:30	不良を減らすための 標準化と品質管理の手法	標準化をする場合の留意点や、作業標準の事例を示しながら盛り込むべき要素や使い方について解説いたします。 ・標準化の進め方 ・品質管理の基本手法 ・不良を低減する品質管理手法	
	18:00～19:00	受講者交流会		
10月25日 (木曜)	9:00～12:00	標準化とQC7つ道具による改善	特性要因図、パレート図、ヒストグラム、管理図、散布図、グラフ、チェックシートについて、書き方や使い方について演習を交えて学んでいただきます。 ・QCストーリーによる改善活動方針検討	
	13:00～17:30			
10月26日 (金曜)	9:00～12:00	QC7つ道具を活用した 自社課題の検討(演習)	QCストーリーに従い、複数のQC7つ道具を使って問題解決を行うグループ演習を行うことで、実務の問題への対応力を高め、小集団活動についても学び、自社の品質管理課題を解決し、各自の役割・使命および目標を達成するための取組みとして、品質目標の管理と品質上の日常業務管理について検討していただきます。 ・管理・監督者としての自身の役割・使命 ・日常業務管理の道具立てと推進方法の検討	
	13:00～16:30			
	16:30～16:40	終講式		

※初日の講義終了後、受講者交流会(18:00～19:00)を予定しています。
※カリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合がございますので、予めご了承ください。

中小企業大学校直方校